

定例オンラインセミナー講演会No.79



教科教育学・心理学・ 日本語教育学の視点から インクルーシブな学びを考える(Ⅰ)

インクルーシブな社会を作るための「社会科」の役割とは

● 日時

2021

6.6 (日)

14:00-15:30

オンライン会議Zoomを使用

本シリーズでは、学びにくさを持つ子どもに既成の教科カリキュラムをいかに教えるかとともに、インクルーシブな社会の実現に向けて教育には何ができるかを考える。

第1回目は「社会科」に焦点をあてる。個人モデルと社会モデルを手がかりに、児童・生徒が社会や環境に合わせて学ぶのではなく、社会や環境を変えることで児童・生徒の学びやすさを創り出すという視点を提案する。あわせてインクルーシブな社会を形成する上で「社会科」が果たすべき役割を、理論と実践の双方からオーディエンスと共に議論したい。

● スケジュール

趣旨説明：川合紀宗（広島大学）

話題提供：社会科とインクルーシブ教育の関係性

川口広美（広島大学）

実践報告：玉井慎也（広島大学大学院生，

広島市立井口中学校・非常勤講師）

実践報告：久保美奈（広島大学大学院生，

広島みらい創生高等学校・非常勤講師）

ディスカッション・Q&A：川合紀宗、川口広美

おわりに：川合紀宗

● 主催

・日本生命財団「児童・少年の健全育成委託研究」「学びのユニバーサルデザインに基づく日本型インクルーシブ教育システムのロールモデルの開発」（研究代表者：川合紀宗）

● 共催

・科学研究費_若手「社会科教師は論争問題をどのように捉えているかー「政治的中立性」との関係から」（研究代表者：川口広美）

・広島大学教育ヴィジョン研究センター（EVRI）

QRコードからもお申し込みいただけます。

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡します

【お問い合わせ先】



Tel & Fax: 082-424-5265

Email: evri-info@hiroshima-u.ac.jp

<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/>